

第5学年〇組 理科学習指導案

指導者 大久保小学校

本時の授業の工夫点	調べたことや考えたことを分かりやすく伝え合う指導の在り方
-----------	------------------------------

1. 単元：台風と天気の変化

2. 目標

○台風による天気の変化に関心をもち、進んで発言したり、進んで資料を集めたりしようとする。

(関心・意欲・態度)

○資料に基づいて、台風の進路についておおむね読み取ることができる。

(科学的な思考)

○台風による災害例などについて資料を収集し、情報を整理することができる。

(観察・実験の技能・表現)

○台風による降雨の特徴をとらえて、台風とくらしのかかわりを考えることができる。

(自然現象についての知識や理解)

3. 指導にあたって

児童はこれまでに、春の頃の日本付近の天気は、西の方から周期的に変わることを学習している。その内容を踏まえて本単元では、台風の進路と天気の変化について実際に調べたデータを基に、春の頃の天気の変化と比較させ、台風が特有の動きをすることをとらえさせるようにする。また、8月にあった台風の情報を活用し地図上に記録する活動を通して、台風の進路を読み取ったり、天気の変化を予測したりすることが可能である。

本単元の学習を進めるにあたり実態調査を行った。(男子15名 女子15名 計30名)

1.理科の学習は好きですか。
・好き22人 ・どちらかといえば好き7人 ・どちらかといえば嫌い0人 ・嫌い1人
2.明日の天気が予想できる。
・予想できる21人 ・予想できない9人

本学級の児童は、理科の学習に関心・意欲が高く、実験・観察をととても楽しみにしている。また、自分の考えを発表したり友だちの考えを聞いたりすることが好きという児童も多い。その一方で、中には自分の考えに自信がもてず説明することに苦手意識をもつ児童もいる。

このような学級の実態を踏まえ、グループワークの話し合いの場を多く取り入れ、自分の考えを身近な友だちに伝えるという活動を通して自分の考えに自信をもって発表できる児童を増やしていきたい。

台風について、直接体験を通して実感を伴った理解を図ることは難しいので、台風による天気の変化と災害について、自分達の経験や新聞などの情報を基に話し合わせて、日本付近での台風の進路や天気の変化について、春の天気のようにきまりがあるのかを考えられるようにする。また、今後日本に接する台風の進路を推測する活動に取り組みさせていきたい。そして、それが災害の防止に役立つことにも気付かせたい。

4. 指導計画 (〇時間取り扱い) 〇は本時

次	時	主な学習活動・内容	評価計画	
			観点	評価基準
1	1	台風と天気	関	台風と天気の関係を自ら調べようとしている。
2	② 3	台風の接近と天気の変化	思 技	台風の進路を予測することができる。 資料などを活用し、計画的に情報を収集している。
3	4	台風の経路を予想しよう	知	台風は南から北へと動くことが多いことを理解している。

5. 本時の指導

(1) 目標

○台風は南の海で発生して、南の方から北の方に進むことを理解することができる。

(2) 準備資料

・模造紙 ・地図 ・新聞記事 ・パソコン ・絵（疑似台風） ・指し棒

(3) 展開

学習活動・内容	・指導上の留意点 ◎評価 ○個への配慮
1. 前時に学習したことを振り返り本時の課題につなげる 2. 本時の課題を確かめる。 気象予報士になって台風の進路を予想しよう。 (1) 台風について予想する。 ・台風の発生する場所を予想する。 ・台風の進路を予想する。 (2) グループになりグループの友だちに自分の台風の発生する場所や進路などの予想を伝え合う。 ・考えを一つにまとめ台風が発生して進む方向がかかれた天気図を作る。 (3) 実際の資料を活用して台風の進路の結果について確認する。 4. 観察結果を発表し、本時のまとめをする。 台風は、南の海で発生して、南の方から北の方へ進むことが多い。 5. 今日の学習で分かったことをノートに書き、本時のまとめとする。 キーワード：台風 進路 北・南 6. 本時の振り返りをし、次時の学習について知る。	・前時を振り返ることで本時の学習のつながりを意識させ、学習意欲を喚起する。 ・気象予報士となって台風の進路について学習することを説明する。 ・今までの経験をもとに予測をたて、見通しを立てられるようにする。 ○机間指導をし、台風の発生する場所や進路が予想できない児童には、地図や資料を使い個別に支援をする。 ○台風の進路などについて予想できなかった児童には、グループの友だちと協力してまとめるよう助言する。 ・グループの児童全員が意見を発表できるよう助言する。 ○うまく説明できない児童には、発表マニュアルを使い発表できるように支援する。 ・過去の台風が日本付近を通過した天気予想図などを使い、台風は南の方から北の方へ進むことを理解させる。 ◎台風は南の海で発生して、南の方から北の方に進むことが多いことが理解できたか。 (思考/観察・発表・ノート) ・台風の進路・北・南という言葉を使ってノートにまとめるように指示する。 ・ノートに書いたことを発表するように指示する。 ・次時は、今まで学んだことを生かして台風クイズをすることを知らせる。